

Hello

2006
11
No.253

friends

KANAGAWA
INTERNATIONAL
ASSOCIATION
NEWSLETTER

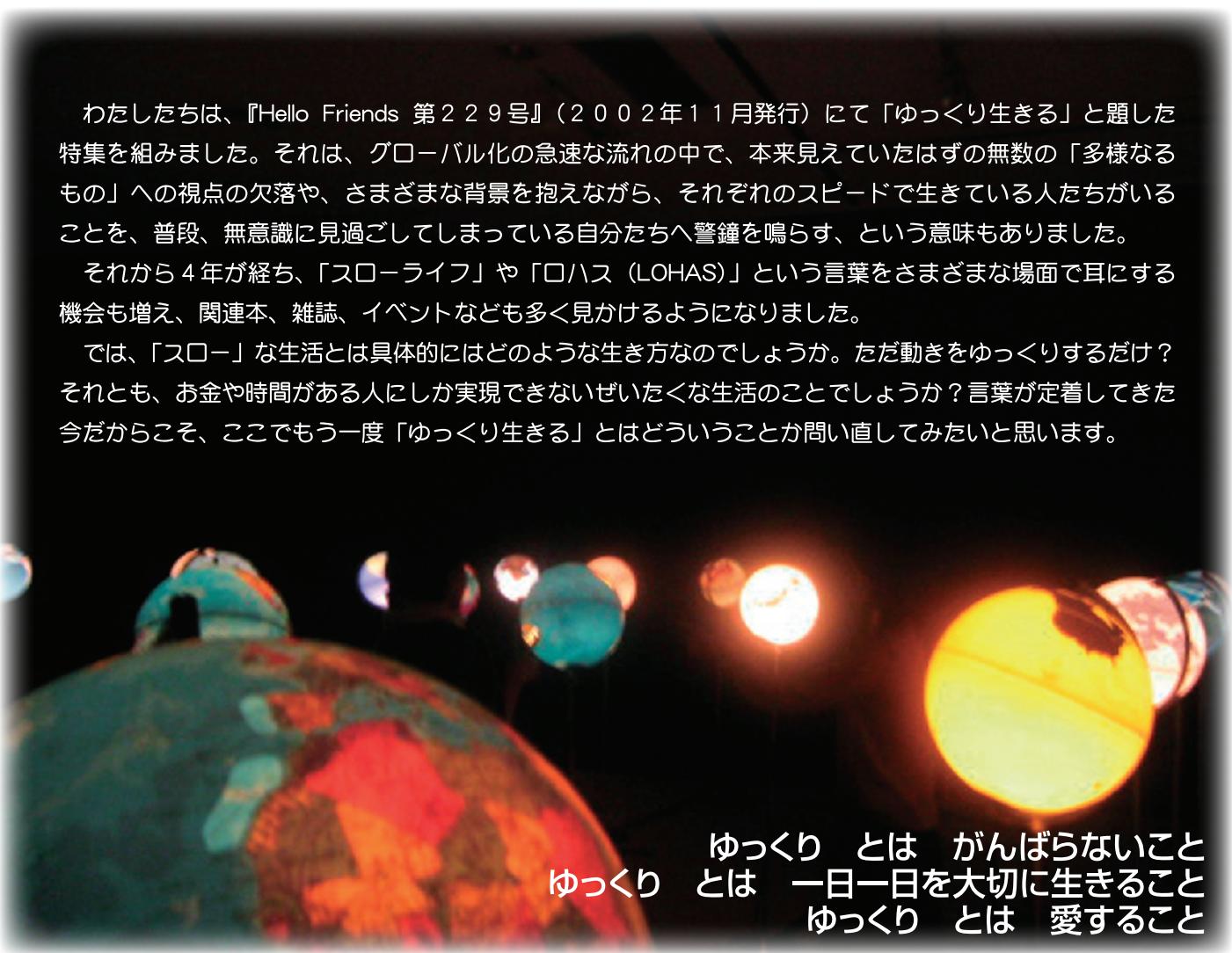
(財) 神奈川県国際交流協会 〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 神奈川県立地球市民かながわプラザ(あーぐ ぱらざ)1階 ☎045-896-2626

特集 ゆっくり生きる Part II (3P~)

わたしたちは、『Hello Friends 第229号』(2002年11月発行)にて「ゆっくり生きる」と題した特集を組みました。それは、グローバル化の急速な流れの中で、本来見えていたはずの無数の「多様なるもの」への視点の欠落や、さまざまな背景を抱えながら、それぞれのスピードで生きている人たちがいることを、普段、無意識に見過ごしてしまっている自分たちへ警鐘を鳴らす、という意味もありました。

それから4年が経ち、「スローライフ」や「ロハス(LOHAS)」という言葉をさまざまな場面で耳にする機会も増え、関連本、雑誌、イベントなども多く見かけるようになりました。

では、「スロー」な生活とは具体的にはどのような生き方なのでしょうか。ただ動きをゆっくりするだけ? それとも、お金や時間がある人にしか実現できないぜいたくな生活のことでしょうか? 言葉が定着してきた今だからこそ、ここでもう一度「ゆっくり生きる」とはどういうことか問い合わせみたいと思います。



ゆっくり とは がんばらないこと
ゆっくり とは 一日一日を大切に生きること
ゆっくり とは 愛すること

読み終わったとき あなただけのあなたらしい歩幅で 次の一歩が踏み出せますように。



かながわのキーパーソン



外 国籍女性がパートナーから暴力を受け、ひとりで日本社会に放り出されたとき、その生活は大変な困難を伴う。特に精神的に傷を負っていたとき、絶望的な心理状況は底知れない。

その女性たちに救いの手を伸ばす人たちがいる。西岡さんもその1人だ。

西岡さんは民間の会社に勤めるOLから転身し、外国人女性への支援活動に関わるようになった。最初は、「女性の家“サーラー”」(以下、サーラー)に関わる。サーラーは人身売買の被害者やドメスティック・バイオレンスの被害にあった女性へのサポートをしている民間の団体だ。そこで初めて「外国人問題」に出会った。

外国籍女性が日本人のパートナーからの暴力で、家を飛び出すケースが後を絶えない。サーラーはその女性たちを一時的に保護するシェルターも運営している。サーラーには夫の暴力に身の危険を感じ、緊

急に助けを求める女性が夜中に電話をかけてくることもある。

サーラーの後、西岡さんは「共同の家ブアン」で活動を開始する。「共同の家ブアン」は、シェルターなどで緊急一時保護を受けた女性たちが自立した生活ができるまでの準備期間を過ごす施設である。そこで数ヶ月過ごした後、女性たちは母子生活支援施設やアパートを探して生活を始める。西岡さんらは、女性たちが自立した生活をするまでの間をサポートする。

シェルターに逃げてきた女性は精神的に傷を抱えながら、住居も生活の糧も探さなければならない。その女性に日本社会の差別が追い討ちをかける。

活動していると女性のパートナーの暴力に対し、「何でこんな(ひどい)ことをするのか」と思うことは多い。また、外国籍住民に対して理解のない不動産業者に怒鳴ったこともあるという。自治体職員や警察の「国に帰ればいい」といった言葉があると、日本の社会の外国籍住民に対する差別の根強さを感じる。

さらに、その子どもたちは、母語が日本語ではない母親を持つため、日本語能力が十分ではなく、学校の学習について行けなくなることも少なくない。

西岡さんも女性たちを支援していると子どもたちのことが常に気にかかるてくる。入居してくる子どもにはできる限り接する機会を持ちたいと考えている。子どもと再会したとき、成長している姿を見るのはやはりうれしいという。

羨望される対象となる国際結婚の裏側には、日本社会の暗部がある。被害者の女性たちの中には生活の苦しさからパートナーのもとに戻る人もいるという。行政の手も届かず、いまだに支援の網からもれる人たちは多い。やるべきことは尽きない。

かながわ民際協力基金

<2006年前期 助成事業決定!>

3つの事業に助成が決定しました。10月1日からの1年間で行われる予定です。

助成事業	第75号 「サンマルコス県における農民組織強化プロジェクト」	第76号 「多言語による教育生活相談事業および多言語相談活動にかかるスタッフ育成事業」	第77号 「在日ブラジル人の意識化運動、リーダーのネットワークづくりと日本社会への発信」
団体	開発と権利のための行動センター	(特活)在日外国人教育生活相談センター・信愛塾	(特活)ABCジャパン
事業分野	海外協力	国内協力	国内協力
助成額	556,000円	1,780,000円	2,255,000円
事業概要	グアテマラで最も貧しい地域のひとつであり、首都から遠く離れた援助の手が届きにくいサンマルコス県で、地域住民が主体的に組織している地域の農民組織を対象に、農業普及員の問題分析・解決能力の強化を通じて、地域の農業を改善すると共に、地域農業振興のために新規産品の開発などを目指す。		
事業概要	急激に増加している日本語理解が不充分な外国人が、母語により教育や生活に関する相談を受けることができるよう体制を築く。同時に言語補助スタッフ・母語相談員の育成のための研修などにより、継続的に多言語による教育生活相談事業が可能となるようにする。		

●○助成申請募集!○●

【対象分野】

次の①～⑥のいずれかに該当する活動で、2007年4月1日以降、1年以内に開始される事業。⑤、⑥については、実施時期・申請受付時期は問わず、随時受け付けます。

- ①海外の開発途上地域での協力活動
- ②外国籍県民等を対象とした、県内での協力活動
- ③国際協力の担い手を育成する活動
- ④NGOの組織強化や活動の充実をはかるための活動
- ⑤国内外の大規模な災害などに対応して行う緊急支援活動
- ⑥NGOと神奈川県国際交流協会が協働で行う活動

【申請資格】

神奈川県内に活動拠点があるか、主に県内で活動するNGO

【助成上限】

①～③300万円 ④50万円
(⑤は申請内容により決定、⑥は100万円を上限とする経費負担)

【申請受付期間】2007年10月1日(土)～11月30日(木)

★NGOの皆さま

「かながわ民際協力基金」の資料をお送りします。下記あてにご請求ください。詳しい内容は当協会ホームページでも見ることができます。

かながわ民際協力基金

<http://www.k-i-a.or.jp/fund/fund01.html>

【問合せ】

(財)神奈川県国際交流協会 国際協力課(成田)

TEL:045-896-2964 ※祝日除く月曜休み

FAX:045-896-2945

E-mail:minsai@k-i-a.or.jp(件名は「民際協力基金について」)

特集：ゆっくり生きる Part II

タマ吉の1週間 ～スローマップの足跡～

ある日、私たちはタマ吉とその素敵なかみたちに出会いました。

彼らはいつでも、

家族や大切な人とゆっくり話をしたり、笑いあつたり。

秋の晴れた日に空の高さや、澄んだ空気の匂いを感じたり。

おいしい料理を食べたときは、その生産者に感謝したり。

そうした彼らが感じる「豊かさ」を大切に思いながら、

毎日毎日を丁寧に、ゆっくりと生きています。

今回の「Hello Friends」では、そんな彼らの一週間を追ってみました。

これからも「ちょっと頑張りすぎて疲れたな」と思つたとき、

彼らは、きっとまた、私たちの前に現れてくれるでしょう。

登場人物紹介

タマ吉

横浜市在住。
年齢：2歳と半年
趣味：地球儀を眺めて、脳内旅行をする
愛読書：地図帳
好きな食べ物：チーズ
絵本作家の見習いとして修行中。将来の夢は、自分の絵本や世界の絵本を集めたら、子どもから大人まで楽しめる『絵本カフェ』を開くこと。スローな活動に关心を持ち始め、ムーに教わるながら、日々模索中。「コレ！」と決めたら一直線。

主人公

ムー

鎌倉市在住。二児の母。

年齢：不詳
愛読書：沢木耕太郎「風の学校」

趣味：サーフィン
幼い頃からサーフィンをしていたが、近年、あまりにも大好きな海や砂浜が汚されていくことに耐えきれず、環境NGOを設立。砂浜でのゴミ拾いや子ども向け環境教育に力を入れている。しかし、本業はほかにあるらしい。謎が多い。

仲良し兄妹

タマ姫

厚木市在住。タマ吉の妹。
年齢：1歳
趣味：ぱーっとすること
金融関係の仕事を従事。多忙のあまり、ぱーっとできないのが最近ツライ。
時々、タマ吉とムーが「スロー」な時間を演出してくれるのが唯一の癒し。

背中で語る

メガネの奥が気になる…

にいさん

川崎市在住。
年齢：不詳
趣味：不明
時々現れては、タマ吉にいろいろなアドバイスをくれる。哲学者っぽい雰囲気を醸しだし、「背中で語る」ことが多い。しかし、幼いタマ吉にはあまり伝わらず…。

鎌倉へゆく

今日は、スローライフ実践中のムーが、行きつけのお店に連れていってくれるんだって。ムーが住む鎌倉までもちょっと小旅行だな。まずは、海沿いの散歩からスタート。「The Organic & Hemp Style Cafe & Bar 麻心」に入る。

お店に入るとコロンとしたひょうたんスプーカー、履き心地が良さそうな麻のサンダルなど衣類・雑貨が目に飛び込み、お店に漂う空気は何だかゆったりとしている。海が見渡せるイスに座り、今日のおすすめ「キャラメルナッツタルト」と「オーガニックティー」を注文。各テーブルにはアサラト（種の入った木の実のマラカス）が置かれており、尋ねてみるとお店ではジャンベやヘンプアクセサリー作りのワークショップ、民族楽器を中心としたライブが行われているようだ。タルトも紅茶も味がしっかりしていてとてもおいしい。このお店にいると、自分が自然体でいられるな。

そういえばにいさんが、「頑張らなくても幸せになれるんだよ」と言っていたこと、思い出した。

つづいてその名もズバリな店名、「フェアトレードのお店」に立ち寄った。お店は1坪半ほどのスペース。所狭しとフェアトレード団体「ネパリ・バザーロ」や「シャ

★フェアトレードとは…

貧困のない公正な社会をつくるための、対話と透明性、互いの敬意に基づいた貿易のパートナーシップ

「プラニール」、「第3世界ショップ」の商品が並び、丁寧なライフスタイルの提案がぎゅっと詰まっている。

フェアトレード商品は、インターネットやカタログで見ることも多いけど、こうして色々な団体の商品を見て、触って選べるのは嬉しいな。草木染めの色合いが気に入ったスカーフをムーとお揃いで買ったよ。

あー今日はいっぱい歩いた。明日はどこへ行こうか、何をしてみようかな。昨日は見えなかったものが、歩みを緩め、周りを見渡したことによって、少しだけ見えてきた気がするんだ。「スローライフ」へのはじめの一歩を、ゆっくりと、でも確かに踏み出せたこと、大切な家族の一員タマ姫に今度伝えに行きたいな。



【SHOP DATA】
フェアトレードのお店
鎌倉市雪ノ下1-8-32
Tel:0467-22-6340



草木染めのスカーフ
肌触りが良いわ〜

火曜日

身近なエコ実践

去年の春、合成洗剤を使用したあとの排水が川や海に流れてても、なかなか自然に還らないのだと、ムーに教えてもらった。それからもう1年以上、食器洗いや洗濯には石けんを使っているんだ。ちょっとした汚れは、新聞紙でふき取るようにして、石けんもあるべく多くは使わないようしている。そして、何より食べ残すこと。いろんな「いのち」を大事に大事に食べるようになったかな。自分の必要なものを必要なだけ。にいさんに教えてもらった「足るを知る」ってこと。粉石けんは溶けにくくて、最初は洗濯の度に苦労したけど、今では慣れたもの。化学的な香料から離れた生活を続けたおかげなのか、この頃は花・土そして風の薫りまでも感じるようになったよ。こんな楽しみが増えるなんて思いもしなかった。

そうだ、昨日、ムーからヒヤシンスの球根をもらったんだった。花は育てたことがないけれど、うまくいくかな? ジャムの空き瓶とマグカップに球根をちょこんとのせて、水栽培してみる。

来年の春、どんな花を咲かしてくれるだろう。そしてその頃、「スローライフの足跡」は形になって残っているだろうか。

ゆっくり大きくなっちゃ。



ナチュラルコスメがずらり



月曜日



【SHOP DATA】
The Organic & Hemp Style Cafe & Bar 麻心
鎌倉市長谷2-8-11 Tel:0467-25-1414

「晴れ屋」が気になる

朝からあんまり晴れてたから、「晴れ屋」に行ってみた。タマ姫の家に遊びに行くとき、いつも通りがかっていたお店。一度行ってみたかったお店。ドアの前に立つと、ふわっとスパイスの香りが漂ってきた。中に入ると、スパイス、石けん、植物のいろんなミックスされた香りでいっぱいだった。それだけで心地良くなってしまう。ランチメニューはどれもおいしそうで迷ったけれど、野菜たっぷりのカレーにしてみた。野菜の味をじっくり味わい、玄米をかみしめて、時間をかけて食べた。一粒一粒、お米の甘さ、味の奥深さを口中に感じながら、作った人のことを思って食べただんだ。いつもお昼は時間が無くて、「お腹に入れればそれでよし」って思っていたから、久しぶりに心もお腹も満足。

こんなに楽しいお店の店長さんは、小泉さんという。元々は、リサイクル業を営んでいた。まだまだ着られる衣料が捨てられていく日本。有効活用できるように、そして環境にも負荷を与えないように始めた古着屋が出発点。今のお店は、自然食品や有機野菜などを扱っているが、そもそもは「自分のおいしいと思うものを食べたい」となると本当においしいものって何



だろう」と考えたのがきっかけだ。

「大好きなお酒を飲むとき、せっかくならおいしつまみと一緒に飲みたいよね。そうやって、色々な食品に出会いながら、自然食品にたどり着いた、という感じかな」。お店のコンセプトに影響を与えたのは、中学生の時に知った、お茶の水にある「GAIA」というお店だった。「晴れ屋」はちょうど開店から丸2年が経った。元々、その場所にはオーガニック食品や商品を扱ったカフェがあり、その店舗を引き継ぐ形で始めた。今では、石けん・野菜・古着そして併設のカフェ等が心地よく融合したお店となっている。ぼくも大好きなチーズをせっかく食べるならおいしいパンと一緒に食べたいって思って、天然酵母でじっくりパンを手作りすることがあるな。こういう思いがスローライフの一歩になることもあるんだね。

お話ししてたら、あっという間に夕方になっていた。今日は遠回りして、2丁目にあるおばあちゃんの八百屋で野菜を買って帰ろう、ちょっと寒くなってきたからスープでも作るために。



【SHOP DATA】
晴れ屋
厚木市中町2-8-6 中町ビル2F
Tel: 046-295-1161



水曜日

アランツ訪問

今日は、寝不足だけどムーに誘われて、あざみ野にある「Natural & Harmonic PLANT'S」に行ってきた。ヘンプを中心としたウェア・バッグ雑貨を扱う「Oromina」、自然栽培の美味しい野菜がたくさん並ぶ「Natural Harmony FARMERS」、エコロジカルな商品に触れられる「KILA・TERA」と、スローを感じられる「衣・食・住」の3店舗が入ったお店。

お店に入りしばらく商品を見た後、「KILA・TERA」の店長さんの鈴木智恵さんとお話しすることに。

以前はアパレルメーカーに勤めていたという鈴木さん。服の大量生産という、「量」を重視した会社の方針に疑問を感じていた日常。江田駅にあった頃から「Inter Natural Garden PLANT'S(現: Natural & Harmonic PLANT'S)」にお客として訪れていたが、思い切って「スタッフになりたい!」と電話をしたのが現在働くきっかけだ。

鈴木さんに「スローライフを実践するには、これをしなければ」という気負いはない。例えば、仕事帰りには夕食の食材として「Natural Harmony FARMERS」で自然栽培された野菜を買って帰ることは多いけれど、外食することだってある。

だけど、そのことは否定しない。背伸びをしたり、高いお金を払ったりする「苦しい」ライフでは決してない。自分の五感に気持ちよく訴えかけるものを、自然といつも選ぶ、振り返るとそれがスローだったと、自信を持って答えてくれた。

鈴木さんとのお話の後、自然食品などを買ってお店をあとにした。今日の鈴木さんのお話を聞いて、自分にできることを少しずつ丁寧に実践していくば良いんだって自信が持てたよ。

金曜日

キムチづくり～漬けて三日目が一番おいしいんだ

★レシピは8Pをみてね★

今日はにいさんと、キムチをつくったよ。一日があつという間だったなあ。さて、寝る前にメールチェック。あ、にいさんからメールが届いているよ。

送信者：“にいさん”
宛先：“タマ吉”
送信日時：2006年×月×日 22:35
件名：今日のこと



今日のキムチづくりはたのしかったよ。それを今度出す雑誌の記事にしてみたからちょっと読んでみて。

* * *

JR川崎駅からバスで10分ちょっとの桜本で下車。目の前の商店街には、朝鮮・韓国料理の食材店が並ぶ。今日は知り合いの史花順（サ・ファスン）さんにキムチづくりを教わった。史さんは丸づばのソフト帽をかぶって、肩から鞄を斜めにかけてやってきた。小柄でほっとする雰囲気を持っていた。早口でぶっきらぼうだが、時折みせる笑顔がとてもかわいらしかった。

キムチづくりを教わった場所は、桜本小学校の旧校舎で、今は学童保育やティケアセンターとして使われているところの台所。台所といつても、食器棚やコンロなどを持ち込んで手作りで食堂にしたというところ。スペースは妙に広いがテーブルは小さい。史さんは早速白菜を取り出し、塩漬けの準備に取り掛かる。キムチづくりは塩漬けが一番難しくて、大事なところだという。しゃべりながらざくざくと白菜を縦に真っ二つに切っていく。

大きなボールに水を入れ、塩を溶かす。塩の量を聞くと、「だいたい」。経験にもとづいた勘といったところか。切った白菜をその塩水にまんべんなく浸す。「塩をそのままふりかけると（塩が）ついたところだけがしょっぱくなる」。だから塩水につけたほうがいいのだそうだ。動きにもむだがなく、あっという間に塩漬けを終えてしまった。



キムチは、白菜にヤンニョンという薬味をすりこみ、漬けこむことでできる。ヤンニョンはにんにくやしょうがをすりつぶしてつくる。ミキサーでつぶせば簡単だが、そうすると粘りが出てこないので、史さんはすり鉢と棒を使う。混ぜる唐辛子の量を聞くと、これも「適当」。

最近は韓国でも若い人は自分でキムチを漬けることはめったにない。それに何でも機械でできるから楽にできるようになったと史さんはいう。それでも史さんは機械を使わず、手でつくる方法を選ぶ。

そんなことをしゃべっているとヤンニョンができるあがった。水気を切った白菜を持ってきて、ヤンニョンをすりこむ。史さんの小柄な体がてきぱきと動き、白菜の葉一枚一枚にヤンニョンをすりこんでいく。

「手でやるほうが手の味が出ておいしくなる」。冬でもゴム手袋は絶対に使わない」と史さん。

一束一束にていねいにヤンニョンをすりこんでいく。できた一つ一つを撫でながらたらいの中に漬けていく様子は、さながら赤ん坊をお風呂に入れているお母さんのよう。

白かった白菜が赤く染められ、史さんの手でキムチにかわっていく。ヤンニョンをすりこんだ白菜がたらいにいっぱいになり、キムチができあがった。

「漬けて3日目が一番おいしいんだ」という史さんの笑顔が、キムチには欠かせない材料のひとつかもしれない。

家に帰ってキムチを食べてみると、少し塩味が強かった。すべてがまったくに管理され、完成された味ではない史さんの味だった。化学調味料の味に慣れている私には、その味は人がつくった自然な味だった。

料理にはレシピに書かれないのである。それは材料を手に入れる過程であったり、調理するときのちょっとした工夫であったりする。一つ一つの作業に史さんの経験が盛り込まれていた。食べるときに、史さんの笑顔や、八百屋のおじさん、桜本の町の人たちが目に浮かび、キムチだけではなく、つくる過程で出会い、感じたすべてのものを食べている気がした。

土曜日

1週間を振り返り、それぞれが思う…

今日は、昨日漬けたキムチをチゲ（鍋）にして、温まりながら大好きな本たちを読み返してみたよ。この本たちは「スピードをちょっと緩めるだけで、見えてくる景色は違うよ。そして、今、世界で起こっている何かに対して気付くことができたなら、きっと君にもできることがあるはず」。そんなふうに誇りかけている気がする。自分の踏み出す1歩。その歩幅は小さくとも、きっとその先には同じように「気づき」を抱えた人々がいるはず。いろんな歩みが混じり合い、大きな道へつながるのだと想いたいな。いつの日か自分の作った絵本を通じて、人を通じて、ゆっくりゆっくりの種をまいていきたい。



タマ吉の人生に影響を与えた本たち
あなたの人生にも影響を与えるかも？

『一秒の世界』
山本良一、Think the Earth project
ダイヤモンド社



『あなたが世界を変える日』
セヴァン・カリス=スズキ
学陽書房



『ハチドリのひとしづく』
辻信一
光文社



『ハチドリのひとしづく』
辻信一
光文社

いつもの日常の中で、ふとした時に感じるあたたかな幸せがあります。私は、金曜日、タマ吉と「PLANT'S」に行く電車の中や、一週間を振り返って、みんなで笑いあったときに、それを感じました。そうした幸せの軌跡が、この地に暮らす者の数だけ存在し、交差し合い、時には脇にそれたり、見えにくかったり。けれど、その存在が確かに「ある」ことが、豊かさであるように思います。



ムー

今週は、仕事に追われてあつという間に過ぎてしまった…。日曜日でぼーっとすることだけを生き甲斐に1週間を駆け抜けてる感じ。ニュースで目にする世界各地の出来事も、自分とは関係ない遠い出来事のような気がしてしまう。もう少し自分の周りの小さな半径だけで生きずに、ゆっくりと心の半径を広げていけるといいな。



タマ吉

急速に失われつつあること、それは人を信頼することかもしれない。疑いは癌のように心を覆ってしまう。『モモ』の「灰色の男」たちが世界を支配する前に、大切なものを取り戻そう。



にいさん

『スマール イズ ビューティフル』
E.F. シューマッハ
講談社



『沈黙の春』
レイチェル・カーソン
新潮社

日曜日

Event Schedule

イベント すけじゅーる

November

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

11月11日(土)

地球市民リーダーセミナー

海外協力の現場から ～難民支援にかける思い～

戦争、飢饉、災害…様々な理由によって、自らの故郷から引きはがされた人々。「難民」と言われる人々の「現実」とはどのようなものなのでしょうか。そして、私たちは、その「現実」からどれほど離れてしまっているのでしょうか。「難民を助ける会」の紺野さんに、海外協力の最前線のアリティと、自らなぜ、遠い国々の「現実」にかかるようになったのか、お話をうかがいます。紺野さんの語る「現実」に耳をすませてみませんか。そこには、私たちが忘れて、大切な事柄が潜んでいるかもしれません。

- 講師：紺野誠二さん（NPO法人難民を助ける会）
- 日時：11月11日(土) 13:30～15:30
- 場所：あーひぶらざ1階会議室
- 参加費：無料
- 申込み・問合せ：（財）神奈川県国際交流協会 国際協力課（担当：キム）
TEL:045-896-2964 ※祝日除く月曜休み
FAX:045-896-2945
E-mail:kim@k-i-a.or.jp

11月28日、12月5、12日(火)

世界の文化セミナー

韓国・朝鮮料理講座

～体が温まる冬の家庭料理とキムチづくり～

冬の風物詩であるキムチや、本格的な寒さに備えて体が温まる家庭料理を作つてみませんか。身近な食材を使いつながら、野菜で作るデザートなど、意外なメニューも紹介します。第1回で漬けるキムチは、自宅でじっくり熟成させ、第3回に出来具合を報告しあう予定です。

- 講師：権栄淑（クォン・ヨンスク）さん（横浜コリア文化研究会講師）
- 日時：2006年11月28日、12月5、12日(火)
全3回10:00～14:00
- 場所：あーひぶらざ1階料理室
- 定員：20人
- 受講料：10,500円（協会会員の方は9,450円）全3回分
※白菜1／4株と甘塩は、各自で準備願います（前日自宅で下準備）
- 持ち物：①エプロン②筆記用具③持ち帰り用容器④塩漬けした白菜1／4株⑤白菜漬け込み用ボウル（第1回目に使用します）
※ご自宅で行つ下準備（白菜の塩漬け）の詳細については、後ほどお伝えします。
- 申込み：お名前・ご住所・電話番号を下記連絡先までお知らせください。追ってこちらから納入方法等を連絡します。
- 問合せ：（財）神奈川県国際交流協会 国際協力課（担当：富木）
TEL:045-896-2964 ※祝日除く月曜休み
FAX:045-896-2945
E-mail:minsai@k-i-a.or.jp（件名は「世界の文化セミナー」）

December

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

かながわ多文化子ども支援メーリングリスト

■□メンバー募集□■

多様な文化的な背景を持つ子どもたちが、より豊かに成長していくように、神奈川県周辺における多文化な子どもへの支援に関する情報交換をインターネット上で行い、参加者のみなさんで情報を共有していくための場です。これから神奈川で子ども支援の活動をしてみたいという方もぜひご参加ください。

【申込み】

タイトルを「多文化メール」として、(1)参加メールアドレス、(2)お名前（ふりがな）、(3)自己紹介を、minsai@k-i-a.or.jpまでメールをお送りください。登録とともに、お名前と自己紹介文をメーリングリストで配信します。

【問合わせ】

担当:水野 TEL:045-896-2964

11月18日(土)

映画 ラブストーリー

母の恋が娘の愛に奇跡を起こす…韓国が涙した、時を超えた愛の奇跡物語。ソン・インジェ主演、韓国で社会現象となった『獵奇的な彼女』の監督クァク・ジョンの作品。胸がしみつけられるほど、切なく純粋な、究極のラブストーリーをお届けします。



- 日時：11月18日(土) 13:30～15:45
- 場所：あーひぶらざ2階プラザホール
- 定員：200名
- 参加費：

●一般 800円 ●前売り・高校生以下 600円
●国際交流協会会員 400円

*前売券は、あーひぶらざ窓口のみで販売。電話予約は受付ません。

- 問合せ：（財）神奈川県国際交流協会 国際協力課（担当：水野・キム）
TEL:045-896-2964 ※祝日除く月曜休み
FAX:045-896-2945
E-mail:minsaikim@k-i-a.or.jp

会員の集い

11月18日(土)

戦場の医師ハッサン・バイエフ ～紛争・平和・人権～

チェチェン共和国。あなたはこの国について何か知っていますか?岩手県ほどの小さな国チェチェンとロシアとの間では10年以上戦争が行われています。戦争のない平和な日本に住む私たち。情けないけれど、戦争をTV画面の中の出来事に終わらせてしまいがちではありませんか?どんなに想像しても戦場の壮絶さは想像しきれません。せめて戦場で、敵味方の別なく治療を続けた医師の話に耳を傾け、平和についてじっくり考えてみませんか。

- 講師：ハッサン・バイエフ（チェチェン人・医師）
- 日時：11月18日(土) 13:30～16:00

■場所：あーひぶらざ1階会議室

- 参加費：無料
- 申込み：電話かメールで(1)講座名、(2)氏名(ふりがな)、(3)所属、(4)連絡先、(5)セミナーで知りたいこと、(6)セミナーを知ったきっかけ、をお知らせください。

- 問合せ：（財）神奈川県国際交流協会 学習サービス課（担当：速水）
TEL:045-896-2899 ※祝日除く月曜休み
E-mail:gakushu@gakushu@k-i-a.or.jp（件名は「地球市民ひろば」）

地球市民ひろば第4回

11月25日、12月2、9、10日(土、日)

多文化かながわスタディーツアー

多文化共生への取り組みを行つる県内地域を訪問するスタディーツアーを実施します。国籍や民族の違い、障がいの有無などを越え、「だれもが力いっぱい生きていける」地域づくりに取り組む川崎桜本、中国につながる子ども達が多く学ぶ横浜山手中華学校、横浜中華街を訪ね、それぞれの地域での取り組みについて理解を深めます。

【事前学習会】

- 日時：2006年11月25日(土) 14:00～17:00
- 場所：あーひぶらざ1階ワークショップルーム
- 講師：裴安（ペイアン）さん
(かながわ外国人すまいサポートセンター、共生のまちづくりネットワークよこはま代表)

【ツアーワーク】

- 「だれもが力いっぱい生きていける地域を目指して一川崎桜本」
- 日時：2006年12月2日(土) 10:00～16:00
- 場所：川崎市ふれあい館、まちなか交流センター他
- 内容：在日2世・3世世代の方とのコリアン料理作り・交流・意見交換、地域での活動の見学・訪問など
- 講師：豊田民珠（トヨダミンジュ）さん
(知的障がい者グループホーム「虹のホーム」)趙弘子（チョウホンジヤ）さん
(在日高齢者交流クラブ「トラヂの会」)

【ツアーワーク】

- 日時：2006年12月9日(土) 10:00～16:00(予定)
- 場所：横浜山手中華学校、横浜中華街
- 内容：横浜山手中華学校での授業見学と校長先生のお話、「横浜中華街と共に歩んで」、横浜中華街の街巡り
- 講師：繆順馨さん（横浜華僑婦女会名誉会長）他

【振り返り】

- 日時：12月10日(日) 14:00～17:00
- 場所：あーひぶらざ1階ワークショップルーム
- 内容：ツアーで感じたことや意見を交換する振り返り

【共通】

- 対象：「多文化共生」の取り組みに関心のある一般・学生など※原則として、事前学習会・振り返りへの参加が可能な方。
- 定員：各15名(両方の参加もできます)
- 参加費：無料(ツアー1は食材費として300～500円程度必要、交通費・昼食費は参加者負担)
- 申込み：(1) 参加希望のツアー(2)氏名(3) 所属・職業等(4)連絡先(電話番号、メールアドレス)(5) 参加の動機を下記までお知らせください。

- 問合せ：（財）神奈川県国際交流協会 学習サービス課（担当：木下）
TEL:045-896-2899 ※祝日除く月曜休み
FAX:045-896-2299
E-mail:gakushu@gakushu@k-i-a.or.jp（件名「スタディツアーワーク」）

世界の食卓から。④

毎回世界のさまざまなレシピを
ご紹介します

サ ファン
史花順さんのキムチ

韓国・朝鮮



【材料】

白菜…1株
塩…30g
大根…1/3本
あみ(えび)の塩辛…100g
(朝鮮・韓国食材店で調達)
にんにく…3かけ
しょうが…1かけ
粉唐辛子…好み

○前準備

- ①塩漬けした白菜を水洗いする。3回ほど繰り返す。
- ②水を切るため、ざるに入れて、しばらく置いておく。
- ヤンニヨン(薬味)
 - ①にんにく、しょうがを皮をむいて、刻み、刻んだにんにくとしょうがをすり鉢です。
 - ②細かくなってきたら、少しずつ唐辛子を入れていく。
 - ③あみの塩辛も入れていく。
 - ④粘りが出てくるまで混ぜる。
 - ⑤大根を皮をむいて、千切りにする。りんごを皮をむいてすりおろす。
 - ⑥④と⑤を混ぜる。
- キムチをつける
 - ①白菜をしぼって、水気をきる。
 - ②白菜の葉一枚一枚にヤンニヨンをすりこんでいく。
 - ③タッパーなどに②を入れていく。ヤンニヨンがあまたら一緒に入れる。完成!

【作り方】(6Pの体験記も参考に)

- 白菜の塩漬け(前日)
 - ①白菜を縦にふたつに切り、芯に切れ目を入れる。
 - ②3%の塩水をつくり、それに白菜ひたす。
 - ③鍋などの大きな入れ物に、葉と芯の方を交互に置いて入れていく。
 - ④おもしをのっけて、半日ほどおく。
 - ⑤途中で下の部分と上の部分の白菜を入れ替える。



ウォン・ミーチー
黄 美芝さん

(マレーシア・ペナン州出身)

「あいさつ」からの国際交流

私は、神奈川県立保健福祉大学社会福祉学科2年に在籍する留学生です。平日は学校に通い、勉強に忙しい日々を過ごしていますが、週末は国際交流のために大半の時間を使っています。様々な文化と民族が共生するマレーシアで小さい頃から育ってきたため、国籍、年齢、性別などを問わず、どんな人ともコミュニケーションを取ることが自然とできます。そのため、私は国際交流が大好きです。交流には、「あいさつ」が大切だと思います。国際交流だけでなく、仲間や家族との交流にとっても「あいさつ」がとても大切だと思います。お互いの生活習慣や文化を知ることによって摩擦や誤解が減り、平和への第一歩となるのではないかと思います。早速周りの人と「あいさつ」することから交流をはじめましょう。

ンをとることができます。そのため、私は国際交流が大好きです。交流には、「あいさつ」が大切だと思います。国際交流だけでなく、仲間や家族との交流にとっても「あいさつ」がとても大切だと思います。お互いの生活習慣や文化を知ることによって摩擦や誤解が減り、平和への第一歩となるのではないかと思います。早速周りの人と「あいさつ」することから交流をはじめましょう。

●神奈川県国際交流協会(KIA)とは
地球のすべての人が、国境や人種、文化の違いを越えて、人間らしく暮らせる社会の実現のため、人と人のつながりを大切にした「国際交流」「国際協力」を推進する様々な事業を展開しています。

●会員になりませんか?

協会の活動を支える会員を募集しています。会員になると…

- ①協会が主催する各種催しや国際交流団体、NGOの催し情報、ボランティア情報を掲載した『Hello Friends』をお送りします。
- ②当協会の出版物の割引サービスが受けられます。
- ③会員の方を対象にした催しへご招待します。
- ④『エスニック・レストラン・マップ』をお送りします。
- ⑤会員証の提示で、提携エスニック・レストランの優待サービスが受けられます。
- ⑥あーだぶるごのレストラン「メルヘン」でお食事の場合、会員証の提示で、コーヒー、紅茶、グラスワイン、ソフトドリンクの一品サービスが受けられます。
- ⑦あーだぶるご ショップ「ベルダ」で2,000円以上(税別)購入の場合、会員証の提示で10%割引が受けられます。

年会費 : 一般	3,000円から
学 生	1,500円から
団 体	10,000円から

*会員登録をご希望の方は、協会までお問い合わせ下さい。振り込み用紙など関係資料をお送りします。

★当協会は、2006年4月より、神奈川県から指定管理者の指定を受け、あーだぶるごを運営することになりました。



このほか、神奈川県国際研修センターと神奈川国際学生会館を運営しています。

Hello Friends 2006年11月1日発行 第253号

発行／財団法人 神奈川県国際交流協会 〒247-0007 横浜市栄区小菅谷1-2-1 神奈川県立地球市民かなかわプラザ1F
TEL:045-896-2626 FAX:045-896-2945 URL:<http://www.k-i-a.or.jp> E-mail:minsai@k-i-a.or.jp 印刷／文明堂印刷株式会社

**これまで社会福祉・安全への
貢献20年20億円を達成しました。
21年目の今年もがんばっていきます。**

**神奈川県遊技場協同組合
神奈川福祉事業協会**

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町1-6-10 神奈川県遊技場協同組合会館

*ハローフレンズに掲載されているイベントへのお申し込みの際にお知らせください
個人情報は、イベント受付以外の目的には使用いたしません。